

収集家のまなざし



小磯良平「たねをみる舞妓」1971年、油彩、キャンバス、大野コレクション

関西
初公開

至高の小磯良平

大野コレクションのすべて

2020年12月24日(木)～2021年3月21日(日)

開館時間 ◆ 10:00から17:00(入館の受付は16:30まで)

休館日 ◆ 毎週月曜日、12月28日～1月4日、1月12日(ただし1月11日(月)は開館)

入館料 ◆ 一般:800(600)円 / 大学生:400(200)円※()内は30名以上の団体料金 / 高校生以下無料※学生証、生徒手帳などを持参ください。

神戸市在住の65歳以上の方:400円 ※住所と年齢が証明できるものを持参ください / 障がい者手帳など持参の方:無料

一般料金の方には、六甲ライナーとのセット券が取得できます(詳しくはお問い合わせください)

主催 ◆ 神戸市立小磯記念美術館、神戸新聞社

後援 ◆ NHK神戸放送局、神戸新交通株式会社、サンテレビジョン、ラジオ関西

協賛 ◆ 一般財団法人みなと銀行文化振興財団

協力 ◆ 株式会社 大野石油店



神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区美洋町中5-7(六甲アイランド公園内)
TEL:078-857-5880

至高の小磯良平 大野コレクションのすべて 2020年12月24日(水)～2021年3月21日(日)

大野コレクションの名品による小磯良平展を開催いたします。1947年に広島に創立された株式会社大野石油店の現会長・大野輝夫氏は、一枚の小磯作品との出会いをきっかけとして、其年深い関心をもって小磯作品を収集してこられました。その数は素描・版画を含めると359点にのぼります。小磯が様式を確立する1930年代後半から晩年の1980年代までの油絵画の数々の名品を含むコレクションは、小磯良平の画業を再構成するには欠くことのできない日本有数の質を誇っています。

このたび、小磯が生まれた神戸の地で、大野コレクションの名品の数々を関西で初めてまとまって展覧する運びとなりました。大野コレクションのすぐれた女性像の数々は、女性の優美さと清らかさを造形した小磯芸術を体現しており、そこに人々に愛され続けている「至高の小磯良平」の世界を見ることが出来ます。

2020年は阪神・淡路大震災から25年の節目にあたります。同社の格別のご厚意によって実現した本展は、大野コレクションの全容と小磯芸術の精華にふれるまたとない展覧会として、皆様へのこの上ない贈りものになると考えています。

1938～45年 様式の確立と戦争の時代



読書 1939年 油彩・キャンバス

1945～70年 あらゆる可能性をもとめて―古典と抽象―



D嬢の像 1962年 油彩・キャンバス



婦人群像 1969年 油彩・厚紙

1970～75年 伝統につらなる―古典的肖像画―



絵画(建築図巻複製完成画のためのエスキース) 1973・74年 ペン・シルク

1975～88年 写実の洗練と簡潔をめざして



静く婦人 1979年 油彩・キャンバス



リネートを待つ婦人 1989年 油彩・キャンバス

貴重な版画も公開



人数二体(木口木版) 1975・76年頃 木版・紙



読書(白) 1988・89年 銅版・紙



バレリーナ 1933年頃 石版・紙



オキチと大野サキ子(木版)複製小磯良平作品展

ACCESS



〔電車〕 JR「住吉駅」、阪神「魚崎駅」のりかえ
六甲ライナー「アイルランド北口駅(小磯記念美術館前)」下車すぐ
〔バス〕 阪急「南船場駅」南側より
みなと観光バス「ウエストコート3番乗降」下車

〔神戸中かりの美術館〕「神戸ファッション美術館」へは
当日入場券の半額表示により割引料金で入館できます。

EVENT

◆資料展関連講座 ◆学芸員によるギャラリートーク ◆子供向けワークショップ
※会期中のイベント、ワークショップなどについては、美術館の公式HPやFacebookをご覧ください。お問い合わせください。(問い合わせ:078-857-5880)

Facebook @KoisoMuseum

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目(六甲アイランド公園内)
TEL:078-857-5880

